

1 本年度の取組

	教育委員会	<ul style="list-style-type: none"> ・教育大綱の周知 (学校訪問、各種研修会、広報やいつ) ・「焼津市の教育の重点」や「授業改善の視点」等の見直し 資料1 ・「学校を明るくするアンケート」の実施 資料2
学校 の 取 組 例	職員間での 共有	<ul style="list-style-type: none"> ・保健主事による職員研修、学校保健委員会「レジリエンスを高めてやってみよう」を行った。(内容)元気でしなやかでへこたれない子どもたちの育成。何度転んでも立ち上がれる子に。【焼津東小】 ・教育課程研修で、校長が教育大綱の理念を学校経営方針につなげた資料を作成し、職員に説明。【黒石小】 ・職員向けの校長だよりで教育大綱についてまとめ、焼津市が目指す姿や基本理念を説明。【大井川中】
	教育活動と おとしての取組	<ul style="list-style-type: none"> ・学校保健委員会で児童に発信(上記)【焼津東小】 ・プラス言葉(前向きな言葉がけ、相手を思いやる言葉がけ)の取組。その結果、自己肯定感の高まりがみられた。【焼津南小】 ・プラスワン活動(委員会の特色を生かしながら、学級や学校のために創意工夫して行う活動)の取組【和田小】 ・キャリアパスポートの取組。自分のことを振り返るだけでなく、友達の良さを伝える活動も行っている。自己有用感が高まり、他者との関わりで優しさを発揮する場面が増えている。【大村中】
	保護者や 地域への発信	<ul style="list-style-type: none"> ・学校だよりで、「失敗は大事」「失敗を恐れない子を」ということを、事例を基に発信した。【東益津小】 資料3 ・学校だよりで、失敗してもあきらめずに努力することの大切さや温かな言葉遣いについて発信した。【大富小】 ・チャレンジすることをおして成長した生徒の振り返りを、学年だよりで紹介した。【大富中】 資料4

2 今後の取組

(1) 教育委員会

教育大綱の理念を各学校へ周知してきた。その結果、今年度から各学校では理念を特に意識した取組が始まったが、まだ緒に就いたばかりである。時間をかけて浸透し成果が表れるものであるため、変容を追いながら継続して取り組んでいく。

(2) 各学校

教育大綱の理念や、それが反映された「焼津市教育の重点」「授業改善の視点」等を学校経営や授業づくりに取り入れ、それらを実現させるための具体的な取組を検討し、実践を積み上げる。

Ⅲ 令和4年度 焼津市の教育の重点 (案)

2022.1.7

子どもたちが「優しく、強く、愛しい人」に育っていくためには、まず、自分自身を知り、世の中の多くのことに興味や関心をもって積極的に挑戦する姿勢が大切である。そして、その挑戦の過程で生じる困難やつまずき、失敗がとても大切な経験となる。目の前の壁に自らの力で立ち向かい、たとえ乗り越えられなくても挑戦した経験があつてこそ、真の強さや優しさを身に付け、人から愛され信頼される愛しい人へと成長する。このことは昨年4月に施行された「焼津市教育大綱」に示されていることである。

しかし、今、子どもたちの実態に目を向けると、市内に限らず全国的に失敗や間違いを極端に恐れる子どもが増加している。また、学習の過程で分からないこと、できないことがあると必要以上に悩んだり、挫けてしまったりする子どもも増えている。

そこで、本市の子どもたちが「優しく、強く、愛しい人」に成長するための出発点（第一段階）として、令和4年度の教育の重点を「失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子」とした。

【令和4年度 重点】 失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子

失敗や間違いをしないことが正しいこととして育った子どもは、些細な失敗や間違いさえも恐れるようになる。また、失敗や間違いをしたときに侮辱されるなどしたことがトラウマとなって、それらを恐れる子どももいる。あるいは、子どもの頃に叱られた経験のほとんどない人は、大人になって仕事上のミスなどで小さな注意を受けて、ひどく落ち込んだり、反発したりすることがあることが指摘される。人は誰でも失敗をするし、間違えることもある。疑問や分からないこともたくさんある。叱られた経験もあつて当たり前である。

子どもが、失敗や間違いを恐れる、疑問を口にしないなどの要因は、その子自身にあるのではなく、世論も含めその子の成長過程で関わる大人や周りの人の接し方などにある。人に迷惑をかけた、人が嫌がったりする行為等に対して叱ることは必要なことである。しかし、精一杯取り組んでの失敗や間違いは、その一生懸命取り組んだ過程を認め褒めることが、その子の次の挑戦への後押しとなる。

園や学校では、子ども一人一人が「失敗してもいい、間違えてもいい、分からないことがあつて当たり前であること」を理解するような接し方や声掛けに努めると共に、子どもが自らそのことに気づくような授業、学校生活、行事等の運営に意を尽くす。そして、変化の激しい時代を生きていく子供たちに、答えを教えてもらうのではなく、疑問をもったことに対し、試行錯誤しながら答えを探す姿勢を身に付けさせたい。

また、保護者や地域の方に、本重点についての理解を求め、具体的な子どもへの接し方や声の掛け方などについて、共通理解を図って協働して取り組みたい。

加えて、家庭的に問題を抱える子、特別な支援が必要な子、外国にルーツがある子など、様々な子どもが年々増加しており、関係諸機関との連携も益々重要となってきている。

子どもは、「失敗してもいいんだ」と思えば、難しいことに挑戦したり、一度失敗してもその失敗を生かして再挑戦したりする。そうした体験を繰り返し、積み上げることで、真の強さや優しさを身に付けていく。

本重点の理念が、子どもと直接接する保護者、教職員、地域の人々に浸透し、子どもの姿として実現していくためには、多くの時間を要し、簡単なことではない。しかし、本市の子どもたちがこれからの時代を生き抜き、輝いていくために、確実な歩みを進めていきたい。



《目 標》 優しく、強く、愛しい人
 《重 点》 失敗や間違いを恐れない子、疑問を言える子
 ⇒ 子どもたちに挑戦（旅）をさせる

「生きる力」を育む児童生徒への指導

取組1 魅力ある授業

- 「主体的・対話的で深い学び」のある授業
- 子どもから生じた疑問や間違いを生かした問題解決的な授業
- 単元で身に付けたい「資質・能力」を押さえた授業
- 指導と評価の一体化、形成的評価の充実、教育機器の効果的活用等により、学ぶ喜びを実感する授業

取組2 心を育てる学校生活

- 道徳教育及び学級での生活を柱とした人権教育、人間尊重の教育の推進
- 結果以上に、挑戦したことなどの過程を認め、褒める指導
- 子ども主体の自治的な活動の推進
- 子ども個々の良さを引き出す支援・指導、特別支援教育の考え方を生かした支援・指導

児童生徒の成長を支える教育環境の充実

取組3 教職員の和

- 個々が力を発揮できる教職員の和と組織体制
- 教職員の資質能力及び危機管理能力の向上
- 教職員が子どもと触れ合う時間確保のための働き方改革の推進

取組4 家庭・地域との協働

- 教育大綱や焼津市の教育の重点に示された「目標」や「重点」の理解と協力依頼
- 子どもの自主・自立を育む接し方についての共通理解、家庭との密な連絡、情報交換
- CS（学校運営協議会、地域学校協働本部）との協働

取組5 関係諸機関との連携

- 関係諸機関（福祉、保健医療、司法、教育相談等）との日常的な連携と緊急時の支援の依頼
- 情報共有や共通理解に基づく、同じ方向性をもった継続的な指導・支援

学びを支える

家庭・子供を支える

家庭・こども支援課「あゆみ」

- 不登校児童生徒の家庭への訪問相談・支援
- 学校生活に関わる様々な不安を抱える家庭への支援
- 子どもに関わる経済的な問題を抱える家庭への支援等

学校教育課「きぼう」 教育センター「みらい」 図書課「こころ」

- 支援員等の配置（小1サポーター・心の教室相談員・特別支援教育支援員・個別支援員等）
- 地域部活動推進 ○教師力強化
- 授業・学習支援 ○外国語指導助手配置
- ITリテラシー教育の推進
- 外国にルーツのある児童生徒支援
- 就学支援、巡回相談の充実
- 授業への図書提供等

学校生活を支える

教育総務課「ひかり」 学校給食課「えがお」

- 学校の施設・設備の充実
- 安全安心な学校生活への支援
- 安全安心で、おいしい給食の提供等

= 学校の教育力向上のための指導・支援 =

令和 4 年度「焼津市の授業改善の視点」

目指す授業:「問題解決的な学習」の過程において、子供の疑問や間違いを生かしながら、子供同士が学び合い、これからの社会で生きていくために必要な資質・能力を育むことができる授業

子供が主体となる授業

3 学習を振り返る場を設定する

教科等の「資質・能力」が身についたか子供が実感できる振り返り

深い学び

2 問題解決に向けて、目的に応じた必然性のある学習活動を設定する

「疑問や考え」の再構成

「見方・考え方」
教科等の

主体的な学び

対話的な学び

「見方・考え方」
教科等の

「疑問や考え」をもつ

1 学習指導要領の目標や内容、指導事項に基づき、単元を見通した授業を構想する

子供自身が解決したい課題や問い

子供理解

- ・子供がどんな疑問をもち、どう学ぶのか、どう教材とかわるのかを想像する。
- ・日々の授業でつかんだ子供の実態をもとに単元を通した子供の姿を想像する。

子供の姿を
具体的に
イメージする

教材研究

- ・単元で身に付けたい教科等の「資質・能力」を明確にし、系統性を押さえて教科・教材の価値や魅力を実感する授業を構想する。
- ・子供が教科の「見方・考え方」を働かせる授業を構想する。

学習の土台づくり

- ・安心できる温かい人間関係
- ・学びに向かう学習態度の育成
- ・学びに集中できる学習環境

指導と評価の一体化

・個々の子供の学びを継続的に見取る
・形成的評価を充実させ、個々の子供に適切な支援をする

効果的なICTの活用

(一人一台端末・電子黒板、デジタル教科書)

「焼津市の授業改善の視点」留意事項（令和4年度）

焼津市教育委員会

目指す授業：「問題解決的な学習」の過程において、子供の疑問や間違いを生かしながら、子供同士が学び合い、これからの社会で生きていくために必要な資質・能力を育むことができる授業

1 学習指導要領の目標や内容、指導事項に基づき、単元を見通した授業を構想する。

- ・学習指導要領に示された、単元で身に付けたい教科等の資質・能力を「子供理解」「教材研究」を基盤に読み解き、何をどのように表出することを期待するのか「子供の学びの姿」を具体的にイメージする。
- ・子供の思考の過程を具体的に想像し、その流れに沿った単元や授業を構想するとともに、「子供自身が解決したい課題や問い」となっているか吟味する。
- ・評価活動を「評価のための評価」に終わらせることなく、子供の学びの改善や教師の指導の改善に生かす「指導と評価の一体化」を進める。そのため、「指導に生かす評価」と「記録に残す評価」を区別し、評価の場面を精選する。

2 問題解決に向けて、目的に応じた必然性のある学習活動を設定する。

- ・解決したい課題や問いについて、問題解決に至る子供の様々な思考の道筋をイメージした上で、問題解決に適した必然性のある学習活動を設定する。
- ・子供が、各教科等の「見方・考え方」を働かせて問題解決を行うことができるような問いを想定し、できるだけ子供の中からその問いが生じるよう仕掛ける。
- ・形式的な「対話型」ではなく対話の必然性を実感できるよう、その目的や方法を子供たちと共有する。子供の実態によっては、対話の方法についても子供が自ら提案できることを目指す。
- ・子供の思考が、「見方・考え方」を働かせ、「疑問や考えの再構成」の過程を経ながら、スパイラル状に深い学びへと至る対話を目指す。
- ・教師が、子供の発言に補足したり、失敗をさせないための手立てを準備しすぎて子供の思考場면을奪ってしまったりすることなく、子供に任せる部分は任せた上で、出番を見極め、子供主体の学びを成立させる。

3 学習を振り返る場を設定する。

- ・単元や本時の目標（教科等の資質・能力）に迫ることができたことを、子供自身が実感できる振り返りを行う。
- ・「目標」「問い」と流れが一貫するような「振り返り」を行う。

★ 効果的なICTの活用

- ・ICT機器は、使うことだけが目的とならないよう留意する。
- ・対話の促進、活性化のためのICT機器の利用とともに、深い学びにつながる活用について検討する。

【校内研修について】

- ・自校の子供にこれからの社会で生きていくために育成したい資質・能力は何なのかを明確にした上で、本年度の研修では何を明らかにしていくのか、そのために何に取り組むのかを焦点化する。
- ・授業案の中に、「授業改善に向けて（研修主題に向けて）」等の項を盛り込むことを継続し、記載内容について共通理解を図る等、項の内容の充実に努める。項の名前やその内容については、各校の研修主題に応じて工夫する。
- ・いつでも、どこでも授業を見合う雰囲気醸成し、機会をつくる。お互いの授業から学ぶ姿勢を持ちたい。

令和3年度 生活や学習に関するアンケート中間調査まとめ < 焼津市 >

問1 普段の生活や考えについて

R3.10

		小学校		中学校		合計		R2	
1	近所の人や知り合いの人にあいさつしている。 (おはよう、こんにちは、声をかけられたときの返事など)	かなり当てはまる	426	90.5%	447	89.1%	873	89.8%	92.7%
		まあ当てはまる	589		542		1131		
		あまり当てはまらない	89		99		188		
		ほとんど当てはまらない	17		22		39		
2	自分には、よいところがある。または、自分を大切にしたいと思っている。	かなり当てはまる	322	79.5%	204	72.4%	526	76.0%	79.1%
		まあ当てはまる	569		600		1169		
		あまり当てはまらない	184		242		426		
		ほとんど当てはまらない	46		64		110		
3	困っている人がいる時は手助けをしようと思う。 (R2: 困っている人がいるときは手助けをする。)	かなり当てはまる	582	93.5%	403	91.3%	985	92.4%	91.8%
		まあ当てはまる	466		610		1076		
		あまり当てはまらない	59		89		148		
		ほとんど当てはまらない	14		8		22		
4	困ったことや悩み事などを相談できる人(親、先生、友達など)がいる。	かなり当てはまる	673	88.1%	446	81.4%	1119	84.8%	89.2%
		まあ当てはまる	315		458		773		
		あまり当てはまらない	94		149		243		
		ほとんど当てはまらない	39		57		96		
5	家や学校で笑顔で生活している。	かなり当てはまる	547	90.0%	481	91.3%	1028	90.6%	
		まあ当てはまる	462		532		994		
		あまり当てはまらない	96		74		170		
		ほとんど当てはまらない	16		23		39		
6	大変なことでも、失敗を恐れなくて挑戦するようにしている。	かなり当てはまる	242	72.2%	161	61.5%	403	66.9%	
		まあ当てはまる	567		522		1089		
		あまり当てはまらない	266		368		634		
		ほとんど当てはまらない	46		59		105		
7	まわりの人の考えを受け入れたり、協力して行動したりしている。	かなり当てはまる	371	90.6%	301	90.3%	672	90.5%	
		まあ当てはまる	645		701		1346		
		あまり当てはまらない	94		97		191		
		ほとんど当てはまらない	11		11		22		

- ・割合は肯定的回答を示している。(「かなり当てはまる」と「まあ当てはまる」の合計の割合)
- ・問5～7は、教育大綱の改訂を受け、今年度新たに加えたもの。

問2 学校生活について

		小学校		中学校		合計		R2	
1	学校生活で楽しいと思うことがある。(授業、行事、部活動、友達との会話など) (R2: 学校が楽しい。)	かなり当てはまる	751	93.8%	577	91.4%	1328	92.6%	89.2%
		まあ当てはまる	300		437		737		
		あまり当てはまらない	57		74		131		
		ほとんど当てはまらない	13		22		35		
2	学校に、信頼することのできる先生がいる。	かなり当てはまる	632	89.9%	421	81.2%	1053	85.6%	86.9%
		まあ当てはまる	376		480		856		
		あまり当てはまらない	83		156		239		
		ほとんど当てはまらない	30		53		83		
3	学校に困ったことや悩み事などを相談できる人(先生、カウンセラー、友達など)がいる。	かなり当てはまる	558	85.2%	391	77.9%	949	81.6%	86.5%
		まあ当てはまる	397		474		871		
		あまり当てはまらない	125		165		290		
		ほとんど当てはまらない	41		80		121		
4	授業中、一生懸命取り組んでいる。	かなり当てはまる	466	89.9%	329	88.5%	795	89.2%	
		まあ当てはまる	542		653		1195		
		あまり当てはまらない	102		113		215		
		ほとんど当てはまらない	11		15		26		
5	授業の内容がよく分かる。	かなり当てはまる	447	90.0%	207	77.7%	654	83.9%	86.4%
		まあ当てはまる	562		655		1217		
		あまり当てはまらない	98		213		311		
		ほとんど当てはまらない	14		35		49		
6	先生に頼らないで、自分や自分たちで考えて行動する場面が多くある。	かなり当てはまる	256	82.3%	183	78.6%	439	80.5%	
		まあ当てはまる	667		689		1356		
		あまり当てはまらない	176		214		390		
		ほとんど当てはまらない	22		24		46		
7	自分の将来について、夢や希望を持っている。 (R2: 自分の将来に対する、はっきりとした夢や希望を持っている。)	かなり当てはまる	611	83.6%	354	65.0%	965	74.3%	70.8%
		まあ当てはまる	326		367		693		
		あまり当てはまらない	103		275		378		
		ほとんど当てはまらない	81		114		195		

- ・割合は肯定的回答を示している。(「かなり当てはまる」と「まあ当てはまる」の合計の割合)
- ・問4、6は、教育大綱の改訂を受け、今年度新たに加えたもの。



ましづっ子

失敗は大事～自分を振り返る～



12月6日、8日、9日の3日間、本校の第30代校長であり、著名な書家でもある藪崎天峯先生が、書初めの指導をしてくださいました。初めに、天峯先生が「本気の一枚」を書くところを子どもたちに見せてくださり、紙の置き方、文鎮の置き方、体の位置、墨の入れ方、筆の持ち方、筆への墨の付け方、押さえる手の使い方、書き始める位置の決め方、筆の入り方、体の使い方、筆の運び方などを、子どもたちに発見させながら「書きたい」という意欲を高めてくださいました。先生が書いている最中には、どの子も息を止めるようにして先生の動きを目で追い、書き終わった瞬間には、思わず拍手が沸き起こりました。

天峯先生は、書いた後に振り返ることの大切さを教えてくださり、「本気で書いた字は、お手本より、大きく、太く、生き生きとしている」、「失敗はいっぱいすればよい。次にどうしたらよいか考える」など、失敗することがいかに大事かについてもお話ししてくださいました。

この後、子どもたちも「本気の一枚」に挑戦し、どの子も「お手本より、大きく、太く、生き生きとした字」を書くことができました。書いた後の字をじっくり見ながら、書いているときの自分を振り返り、気持ちが集中していたか、体を使って書けていたかなど、それぞれに次に書くときの課題を確認していました。



ましづっ子

資料 3-2



令和4年2月 焼津市立東益津小学校 特別号

よりよい学校づくりのための実態調査（後期）結果報告

日頃より、東益津小学校の教育活動に御協力いただき、ありがとうございます。子どもたちは本年度最後のステージ「希望・感謝」を迎え、お世話になったボランティアの方に手紙を書いたり、6年生に感謝の気持ちを伝える準備をしたりしています。また、「〇〇ができるようになったよ」「〇年生に向けてがんばるぞ」など、この1年でできるようになったことへの達成感や次学年に向けての意欲が見られるようになってきました。さらに、保護者の皆様に御協力いただいた調査結果の児童の姿から、本校の本年度の教育の成果と課題を整理し、来年度の「めざすましづっ子の姿」を明確にしながら、教育計画を立てているところです。学校と家庭とが同じ思いで子どもを育ててこそ、大きな成果が得られると考えております。今後とも保護者の皆様の御理解、御協力をよろしくお願いします。

さて、本年度、重点目標である『自分から動きだそう みんなでのびよう』を目指して様々な教育活動に取り組んできました。その中でも、①付けるべき力をつけるための授業、②一人一人に居場所があり、安心して温かく活力のある学級・学年・学校、③家庭や地域と協働する開かれた学校、を重点的に指導し続けてきました。保護者・子ども・教師の3者の立場から回答を得た結果を、以下のよう

1 調査結果

肯定回答の割合 (%)

No	質問事項	児童	保護者	教師
1	児童は、学校生活を楽しんでいる。	86.9	95.2	91.7
2	児童は、困ったときや悩んだ時、相談できる人がいる。	86.9	97.7	91.7
3	児童は、学校の約束を守っている。	84.4	92.5	75.0
4	児童は、すすんであいさつをしている。	78.8	77.7	33.3
5	児童は、自分のよいところをわかっている。	76.5	75.1	41.7
6	児童は、自分の将来について夢や希望をもっている。	79.8	85.3	58.3
7	児童は、授業の内容がよくわかっている。	85.7	77.2	83.3
8	児童は、人の話をしっかり聞いている。	86.4	75.6	66.7
9	児童は、週5日以上・目安の時間以上家で学習している。	86.4	79.3	100
10	児童は、読書や読み聞かせを楽しんでいる。	88.6	79.4	100
11	児童は、自分で気づき、考え、行動している。	70.1	79.5	75.0
12	児童は、自分の考えをすすんで伝えている。		75.0	83.3
13	児童は、失敗を恐れなくて挑戦している。	75.1	57.3	50.0
14	児童は、協力しながら生活をしている。	89.1	91.8	83.3
15	児童は、みんなのためにすすんで仕事や活動をしている。	84.7	87.0	66.7
16	児童は、周りの人がいやな思いをしないように言葉や行動に気を付けている。	83.2	84.2	58.3
17	児童は、交通ルールを守っている。	95.3		83.3
17	児童は、地震等の災害の際に適切な行動がとれる。	93.3		83.3
17	学校は、児童の安心・安全に気を配っている。		92.2	75.0
18	学校は、教育方針・学校の様子をわかりやすく伝えている。		93.8	91.7

1 成果

1 学校を楽しんでいる。

2 困ったときや悩んだ時、相談できる人がいる。

前期に引き続き、「できている」との回答が多かったです。学校では、子どものよさを見つけ価値付けてきました。今年度も新型コロナ対応のため、オンライン授業や分散登校もあり例年のような活動ができないこともありました。子どもたちの中には、友達と過ごす楽しさを感じた子もたくさんいました。対面授業が始まって発表の方法をかえることで、例年とは違う活躍の場がありました。係や委員会でも、取り組み方を変えながらも友達とともに活躍する姿もみられました。どんな状況でも、自分のがんばりを実感し、「自分でできた」という実感や充実感を味わう子がたくさんいること、そして何よりも、友達と一緒にがんばることが、楽しさに繋がっているのではないかと感じます。

また、学校では担任だけでなく、心の相談員やスクールカウンセラーなど、全職員で子どもたちの声を聞き、子どもの心に寄り添った支援をすることを心がけています。心のアンケートや相談ポストを活用し、様々な方法で悩みに対応できるよう、今後も環境を整えていきます。今年度も、教育相談日だけでなく、日頃から保護者の方の相談に対応できるよう心がけました。今後も保護者と学校が相談しやすい環境を整えていきたいと思えます。よろしくお祈いします。

一方、学校生活が楽しくないと感じたり、相談できずに悩んだりしている児童がいることが心配です。すべての子どもたちが「学校が楽しい」「相談できる人がいる」と感じることができるよう、全校体制で取り組みたいと考えます。

17 児童は、交通ルールを守っている。地震等の災害の際に適切な行動がとれる。 学校は、児童の安心・安全に気を配っている。

学校では、命を守るためにどんな行動をとったらよいか、日頃子どもたちに指導しています。地震や火事からどのように身を守ればよいのかを考える機会を設けています。交通安全についても、特に長期休み前の指導、交通安全教室での実践を通して、一人一人が自分のこととして捉えるよう、子どもたちとともに意識を高めています。安全パートナーさんの存在も子どもたちの安心安全に欠かせません。そして、何よりも日頃からご家庭で声かけをしていただいているからこそ、子どもたちの意識も高いと思えます。引き続き、ご協力をお願いします。



2 課題

4 児童は、失敗を恐れなくて挑戦している。

子どもに限らず、できれば失敗しないで過ごしたいと誰もが思うのは自然なことです。成功体験だけでなく、失敗体験からもたくさん学ぶ、自分の力にしていくことも大切です。子どもたちにはたくさんの経験をし力をつけることで、これからの未来を生きていってほしいと願っています。学校では、失敗しても周りが支え合う環境を作ることをこれからも心がけていきます。失敗しても支えてもらえる安心感が大切だと考えています。学校生活の中で、子どもたちは成功だけでなく失敗もたくさんします。結果ではなく、挑戦した姿を価値づけていきます。ご家庭でも挑戦している姿を見つけたら、ぜひ価値づけるとともに、学校もお知らせくださるとありがたいです。ご家庭・学校で褒めることで、きっと子どもたちの意識も変わってくると思えます。よろしくお祈いします。

3 その他

新型コロナへの対応のため、今年度も中止になった行事や変更が必要となった行事がありました。授業参観及び懇談会も自治会や学年で実施するなど、保護者にもご迷惑をおかけしました。学校便りや学年便りなどで学校の様子をお知らせしていますが、もっと学校の様子を知りたいという保護者の声も聞かれました。引き続き、新型コロナ対応を徹底し、子どもたちの安心安全を第一としていきたいと考えています。今後につきましても、学校の様子など、ご質問などがありましたら、担任までお知らせいただくとありがたいです。

本気 ~思いやりに支えられて~

体育の部を振り返って **パート1**

2 1 H

各学級の振り返りの中から、いくつか紹介します。

《体育の部を終えて、私の成長の軌跡》

私はいろいろな人に意見を言えるようになったところが一番成長したかなと思います。昨年は、上級生が怖くて競技についての意見を出せず、リレーの走順も学級委員に丸投げして「ここは、こうした方が速くなるのに…」と思っても何も言わないでいました。でも、今年は学年がひとつ上がって余裕ができたのか、3年生に意見を出すことができ、わからないところがあったら、すんなり聞きに行くことができました。同じクラスの友達にも、昨年より早くなじめたこともあってか、堂々と意見を言うことができました。私は、いままで意見を言う方だと思っていましたが、今の私から見るといままでの自分は、少し控えめだなと思うくらいに成長できました。私自身強くなったこともあると思いますが、いっしょに笑ってくれるクラスのみんな、話しかけやすくしてくれた3年生など、周りの支えもあってこそ成長できたと思いました。体育の部は、色別で争ってみんなで成長できるものだし、それに向けて体力の向上などたくさんのメリットがありますが、やっぱり一番良いところは、「気がついたら成長している」「夢中になっているうちに今までの自分と変わっている」ところかなと思います。普段の授業も大切だけど、楽しみながら体験して成長できる体育の部は、大切な行事だと思いました。

《富中生にありがとう！！》

背渡りの種目責任者さんへ

私や他の子が並び方、間隔の開け方などのアイデア、意見を出すと「それいいね！」と言って、とりあえず試してみてくださいとありがとうございました。おかげで改善点もすぐに見つけられたし、大幅にタイムを縮められたし、ちゃんと競技に参加している感じがして楽しくできました。ありがとうございました。

2 1 H 江良 愛緒

2 2 H

《体育大会を終えて、私の成長の軌跡》

私は、今回の体育の部を通して改めて「協力」することの大切さを感じることができました。色別競技では、背渡りとムカデに出場しました。どちらの競技でもアドバイスを互いにし合い、力を合わせて取り組みました。私は、今まで年下の人と話すことがあまり得意ではありませんでした。周りの意見を良く聞いて場をまとめている3年生の姿を見て、1年生ともコミュニケーションを取ることができました。また、練習の時、同じ色の仲間と競争をしてアドバイスをするなど、協力して共に高め合うことができ、とても楽しかったです。学級の種目では、長縄と全員リレーがありました。リレーでは、保体の授業での練習で、バトンパスのタイミングを話し合うことができました。長縄では、競技前からクラスで団結して競技中も引っかかったときに励ましの声かけをすることができました。また、係の仕事でも他の専門委員と合同での仕事でしたが、しっかりとコミュニケーション



ョンを取り、スムーズに進行できるように心掛けました。アドバイス、声かけなどが中心ではありますが、心をひとつに協力して競技、係に取り組んだので、結果は悔しいものがありますが、達成感を感じることができました。来年は、協力も大切ですがリーダーシップをとれるようにしたいです。

《仲間にありがとう！！》

水野 楓華 さんへ

係や出場競技で忙しい中でも、学級委員として手指消毒の呼びかけや整列、点呼などをしっかりしてくれていました。周りが騒がしい中でもクラスのことを気にして指示だしをしてくれていたのが、スムーズにクラスですべきことができました。どんなときでも周りのことを気にかけて行動してくれる楓華さんはステキだと思いました。

22H 高橋 心優

※「体育大会を振り返って」は、今後全学級を掲載します



11月の予定

- 11 / 1 (月) ……生徒総会 諸会費引落日① 本日より下校時間16:20
- / 2 (火) ……富中安全の日 ◎後期専門委員・係活動開始
5時間授業 昼休み「発育測定」① テスト前部活動なし
- / 3 (水) ……祝日「文化の日」
- / 4 (木) ……第3回定期テスト1日目 (技能教科) ⑥保体
- / 5 (金) ……第3日定期テスト2日目 (5教科) 5時間授業
①社会 ②数学 ③理科 ④英語 ⑤国語
★三者面談希望回収日
- / 8 (月) ……昼休み「発育測定」②
- / 9 (火) ……昼休み「発育測定」③最終 放課後：評議員会
- / 10 (水) ……読み聞かせ (2年生)
- / 11 (木) ……避難訓練 諸会費引落日②
- / 15 (月) ……放課後：後期専門委員会
- / 16 (火) ……第5時：学年集会「学年運営について」 5時間授業
- / 17 (水) ……学年運営1日目 ★弁当持参
第1時～第4時 総合的な学習の時間「未来を創ろう 発表会」
第5、6時 「第3回ハルユキカップ ○○大会」
- / 18 (木) ……学年運営2日目 ★弁当持参
「校外学習」・学級別コースで活動
- / 19 (金) ……学年運営3日目 ★本日は給食です。お間違えなく！
第1、2時：「校外学習まとめ」第3、4時：「合唱中間発表会」
第5、6時：「進路講話」・高校の先生にお話していただきます。
- / 22 (月) ……学年運営4日目 ★本日も給食です。お間違えなく！
第1時～第4時 通常授業 給食後、下校です。
- / 23 (火) ……祝日「勤労感謝の日」
- / 24 (水) ……第1時：「2学期を振り返って」
- / 26 (金) ……第3、4時：協創伝 文化の部「合唱発表会」
★次年度PTA役員決め (合唱発表後)
- / 30 (火) ……3年生学力診断調査



